



不登校の児童生徒の保護者のみなさんにお便りします

やまびこ



兵庫県立但馬やまびこの郷

<http://www.t-yamabiko.asago.hyogo.jp/>
E-Mail : Tajimayamabiko@pref.hyogo.lg.jp

不登校の「長期化」にどう向き合うか？

不登校の状態が1ヶ月以上続くと、親としても不安や焦りが増してきます。
出口の見えない状況が、さらに親子関係を悪化させる場合もあるようです。
一度立ち止まって、以下のポイントを見直してみませんか？



- (1) かかわり方を振り返る 親が先行し過ぎたり、子どもの言いなりになったりしていませんか？

- ・親が登校、勉強にこだわり、気持ちに大きなズレができている。

期待に応えられない自分を責めたり、思い通りにならないことで息切れしているのではないか？

➡ 手の届く目標に修正し、**段階的に達成**するようにしてみましょう。

- ・親がやることを先々決めてしまっていた。

自ら考えることに消極的になったり、いろんな動きに付いて行けず、疲れきっているのではないか？

➡ 達成できそうな選択肢を提示し、**自主性を尊重**しましょう。

- ・気持ちが動搖し、子どもの言動に右往左往してきた。

親の判断基準が不明確だったため、物事への耐性や周囲との協調性が低下し、自己中心的な行動が目立っているのではないか？

➡ 子どもの気持ちを汲みながらも、親として大切にしたいことはしっかりと伝えましょう。指示や命令ではなく、気持ちを合わせることに心を配り、「叱らないけど、譲らない」という姿勢が大切です。

- (2) 不登校となっている意味を考える 行きたいけれど、足が進まない。その理由は？
- (3) むしろ“必要な時間”と捉える 見方を変えて、少し気を楽にしてみませんか？
- (4) 学校との連携を切らない 疎遠になりがちです・・・定期的に様子を伝えてみませんか？
- (5) 専門機関に相談する いったん立ち止まって、利用を考えてみては？

(2)～(5)の詳細については、当所ホームページ「保護者支援・教育相談」のコーナー「やまびこ」第39号参考資料をご覧下さい。

<http://www.t-yamabiko.asago.hyogo.jp/>



※参考『不登校 予防と支援Q & A 70』(菅野 純著・明治図書)

まこさんからのメッセージ

ここにあなたがいて、 それだけですばらしい



兵庫県立但馬やまびこの郷所長

佐 藤 眞 子

毎日元気に登校し、笑顔で家に戻ってきてくれれば、親は何も心配することはないのですが、学校が楽しいばかりというわけにいかないのは、今も昔も同じでしょう。お父さんもお母さんも「そういえば、自分の小・中学校時代もいろいろあったよね」と思い返されるのではないでしょうか。

大人になると、自分が子どもであったことをすっかり忘れてしまうものようですが、時には子どもの視点から、学校や大人を眺めてみてもいいかもしれません。そうすれば、今以上に、あるがままの子どもを、優しく受けとめることができるのではないかと思います。

学校は「けいむ所」？

ずいぶん以前の調査報告なのですが、その内容を読んで笑ってしまったことがあります。（駒林邦男「子どもにとって学校とは何か」1991）この調査は小学6年生の子ども（1985年当時）に学校や先生のイメージを尋ねたものです。具体的には「学校は～だ」「先生は～みたいだ」の「～」に思いついた言葉を入れて、その理由を答えてもらうのです。その結果の一例を以下に示します。

- | | |
|-----|--|
| 学校は | <ul style="list-style-type: none">・ けいむ所（勉強が終わらないと出してくれない）・ とりかご
(たまにはおもしろいことがあるけど、約6時間とじこめられたまだ)・ てっきんコンクリートのろうや
(勉強が終わらないととじこめて出さない。ついでにごはんもついている) |
|-----|--|

- | | |
|-----|--|
| 先生は | <ul style="list-style-type: none">・ 大きなかいじゅう（何をしても、かなわない）・ けいさつかん
(何をしても、すぐはんにんをつきとめる)（なんかすると、すぐにおこる）・ やくざ（おどして、やったことをはかせる）・ クーラー（まわりの人が、ぞっとする） |
|-----|--|

多少ふざけて書いた子がいたかもしれません、イメージを率直に語っていると思えます。

弱点の克服は重要ですか？

学校が「けいむ所」で、先生が「大きなかいじゅう」であったとしても、「たまにはおもしろいこともある」ようです。これが「たまには」でなく、「いつもおもしろい」と思えるといいのですが、なかなかそうはいかないのでしょう。

「学校があもしろくない」理由として、こんなだとえ話があります。「走るのが得意なうさぎが、水泳や飛込みを学校で練習させられていやになり、カウンセラーに相談に行くと、走るのは得意なのだから空いた時間にもっと水泳を練習することを勧められる」という話です。バッキンガムとクリフトンによる「さあ、才能に目覚めよう」（田口俊樹訳、日本経済新聞出版社、2001）という著書には「自分の弱点を恐れるあまり、自分の強みに自信が持てなくなる、というのはよくあることだ」と述べられています。そして現代の教育やしつけは弱点を克服することに焦点が当てられ過ぎている、とも言います。先述のうさぎで言えば、もっと走ってみたいのに、しっかり泳ぐように忠告されるのが今の学校だということなのです。不登校の子どもの対応にこの話をあてはめるならば、「何がうまくいかない原因なのか」「どうすれば弱い部分を強くすることができるのか」を問い合わせ、その克服こそが子どもを成長させる唯一の道であると考える、ということになるのではないかでしょうか。

泳ぎの上手なうさぎになれなくても

走るのが得意なうさぎならば、泳ぐのが不得意という弱点の克服にエネルギーを注ぐよりも、早く走れることを自信にして、つまり「強み」を活かして、もっと早く走ることを目指す方が、「充実」につながりはしないでしょうか。ひょっとしたら、走ることが得意なことに気づかず、「うちの子は走るのも泳ぐのも得意ではありません。何も誇れるものはありません」とあっしゃる親うさぎもおられるかもしれません。もし子どもが「自分なんかダメだ」と自己卑下的になり、とても消極的になってしまっているならば、子どもと同じように落ち込んだりしていないで、まずは親が子どものよい資質に目をむけていただきたいと思います。



本当は得意なことが何もないという子どもなどいないのです。「優しい」「着想が面白い」「好きなことに没頭できる」…、きっと子どものいろいろな「強み」に気づくことができるでしょう。親や周りの大人が子どもの優れた力に気づき、その力を持つ子どものあるがままを受けとめることができれば、子どもはきっと元気を取り戻していくはずです。

「ここにあなたがいて それだけですばらしい」のですから。

(高石ともや作詞・但馬やまびこの郷の歌)

20周年事業(やまびこフェスタ)

秋も深まり色づく山々を背に、但馬やまびこの郷の成人式とも言える20周年事業を実施しました。厳かな雰囲気の中、記念式典がスタートし、ご来賓や参加者合わせて約300人の方々に祝福していただきました。会場ではやまびこ鍋や焼き芋、お茶席などが振る舞われました。

20周年を記念して、フォークシンガーの高石ともやさんにテーマソングを作詞・作曲していただきました。その歌詞には、「悩みや不安を持った子たちが、自然の中で仲間と出会い、ふれあいを通して新たな自分を見つけ、成長してほしい」という願いが込められています。

記念コンサートでは、「ここに座ってごらん」が初めて披露され、心温まるトークで参加者の心が癒やされるひとときでした。



やまびこ親の会

8月29日(土)～30日(日)



1日目「みんなで楽しもう」「創作活動」

ゲームを交えて交流を図り、徐々に雰囲気も和んでいきました。実際に子どもたちが取り組む活動（プラ板等）を体験していただきました。

2日目「まこさんを囲んで」「保護者交流会」

所長の講話の後、「子どもとの関わりで気を付けていること、大事にしていること」「こういう接し方をすれば効果的であったこと」を全員から一言ずつ発言いただきました。交流会は少人数のアットホームな雰囲気で実施され、O Bの方からは経験談やアドバイスをいただくこともできました。

保護者の声

- 色々な話が聞け「自分だけではない」という前向きな気持ちになれました。
- 今までやってきたことが「これでいいんだ」と思えたことで、パワーをもらいました。幸福感、満足度の高い子にするための視点を大切に、今後も見守っていきたいです。
- 悩みを少しでも和らげられるよう、以前自分がアドバイスをいただいたのと同様、私もみんなに協力できればと思います。
- やまびこの郷の体験を通して子どもは元気になりました。次のステップにも進んでいます。本当にありがとうございます。

10月25日(日)

ここに座ってごらん

作詞・作曲 高石ともや

1 風かがやいて やまびこの郷

ここにあなたがいて それだけですばらしい
自分さがしの はじめての旅だから
ここに来てごらん 空が高いよ
ここに座ってごらん 夢がひろがってゆく

2 雨があがって やまびこの郷

空に虹がかかる それだけで美しい
自分の足で 歩き出す旅だから
ここに来てごらん 花がひらくよ
ここに座ってごらん 笑顔に会えるから

3 花びらながれ やまびこの郷

めぐりゆく季節が いつでも新しい
さびしくないさ 一緒にはじめよう
ここに来てごらん 満天の星だよ
ここに座ってごらん 新しい夜明けだよ

